

2025年度決算より



歳入は約**838億**、歳出は約**813億**。一見黒字に見えますが、基金の取り崩しや市債の借入れがなければ**赤字**です。国からの地方消費税交付金は前年比3.7億増。好調な消費の伸びだけでなく、インフレになれば納める消費税も増えますから「**インフレ増税**」の側面もあります。2027年度からの消費減税と支援金の影響についても注視が必要です。また、ふるさと納税による市税

流出額は**10億**に迫る勢い。制度の抜本的見直しが求められます。歳出では、改善の余地はないかの視点で質疑しました。例えば5回あった選挙については、**タブレット投票導入**も視野に人件費圧縮の検討を、また新しくできた路上喫煙禁止条例については、**自動音声による注意喚起**が効果的では、などです。また、指定管理者に対して監査から厳しい指摘があり、間違いがあっ

ても5年分しか請求できないため、事業開始から**5年以内に監査**を行うことを求めました。基礎基本を大切とした組織の土台づくりに期待します。(認定)



選挙ポスターの掲示板。板を白く塗る必要がある?と問うと古紙を原料としたSTボードという商品で100%リサイクルしているとのことでした。

日野市立病院のこれから



市立病院の運転資金が不足しています。議会初日には**1億円短期貸付**の議案が、また昨年度に続き**10億円の長期貸付**の補正予算がありました。昨年からの累計で20億円、今後も不透明です。市政全体への影響を考えると、貸付にも限度があります。病院も経営改善に努めていますが、構造的に限界があります。いま病院のこれからを考える**在り方検討委員会**が開かれており、提言を踏まえ市が方針を決めることになっています。市民の皆さんからのご意見を伺うパブリックコメント(年明け頃を予定)もありますので、ぜひご意見をお寄せください。(賛成)

◆市立病院で産んでほしいと、分娩費用の一部減免も始まっています。



委員会の資料や議事録はこちら

地域公共交通のこれから



深刻な運転手不足により、**ミニバス運行の見直し**が検討され、現状維持を求める多くの市民請願がありました。全体的な見直しは避けられない状況であると判断し、採択することはできませんでしたが、その後できるだけ影響が少ないかたちへの見直しがされました。



このようなことは、**地域公共交通会議**で話し合われています。公共交通のこれから、また互助交通の可能性なども、考えていきたいと思えます。



地域公共交通会議の資料や議事録はこちら

ごみ清掃員でお笑い芸人マシンガンズ 滝沢さんと。ごみを捨てる時、食べ物、作り手、回収する人、そして未来に対する「**リスペクト(敬意)**」も忘れないでという話が特に印象に残りました。



講演会@八王子に参加(8月17日)